

## 第2回 実施報告書

### 1 学校名

土岐市立肥田中学校

### 2 実施内容

3年生選択教科社会科(生徒数10名) 「政治家の靖国神社参拝の問題点」

#### (1) 課題を設定

「毎年8月15日頃になると、内閣総理大臣や国会議員が靖国神社に参拝することがニュースで取り上げられるが、なぜなのか。」

#### (2) 調査活動

課題を解決するにあたり、生徒が次の3つの質問をした。

そこで、靖国神社のホームページと英霊にこたえる会のホームページを見せて、質問の答えになる資料を探させた。

靖国神社とは、どういう神社なのか。

韓国や中国は、なぜ口出しをするのか。

戦犯とはどういう人なのか。(どんな悪いことをしたのか。)

#### (3) 資料に基づく検討と討論

靖国神社は、戊辰戦争以来の戦没者を祀り慰霊するための神社である。

韓国や中国が口出しをする理由は、「侵略戦争」を推し進めた責任者(A級戦犯)が祀られているからである。

戦犯といわれる人たちは、戦争当時の政府や軍の高官である。戦争中に、国際法に違反する行為をしたという理由で、犯罪者として処罰されたが、処罰の根拠になった法は後から作られたものであり、裁判自体が違法・無効だ。

日本人の中にも、靖国神社参拝に反対する人がいるのはなぜなのか。

政治家が参拝する時に、公のお金や車を使うので、憲法の政教分離の原則に違反すると考えているからだ。

国のため、国民のために犠牲になった人々に頭を下げて、感謝の言葉を言うのは当然のことだ。文句を言う方がおかしい。

### 3, 実施時期

10月末から12月

### 4, 成果と課題

#### (1) 成果

生徒が持っている教科書や資料集では手に入れることができない情報・資料を、入手することができた。また、当時の歌を聴くこともできた。高速回線のインターネットが無くてはできなかった。

#### (2) 課題

資料の検索・収集を個々の生徒に行わせると、所要時間に大きな差が出る。また、入手できる情報の量にも大きな差が出る。この差を縮めるためには、生徒に見せるページを決めておいて指示することが必要である。

プリンタの台数が少なく、印刷するスピードも遅いので、一人一人の生徒が資料を手にするまでに長い時間がかかる。

### 5, 今後の方向

(1) 多くの生徒が学習の手段として使うために、高性能のプリンタをできるだけ多く設置するように、要求していく。

(2) 高速のインターネットの活用法の例を、全職員に提示していく。